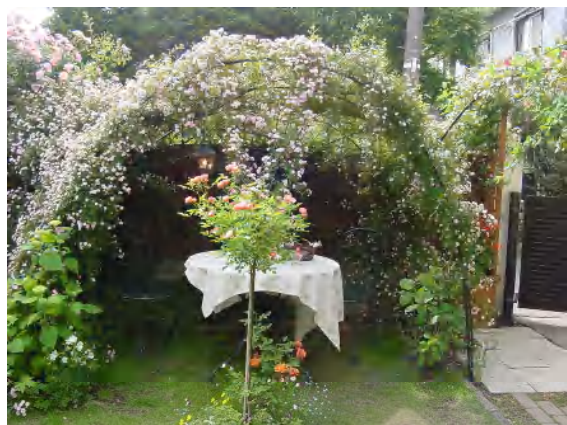


オープンガーデン、してみませんか？



三鷹市でのオープンガーデンツアーにて。ミニバラ「夢乙女」のドーム。(オープンガーデンクラブ東京提供)

二〇〇七年九月発行

第十一号

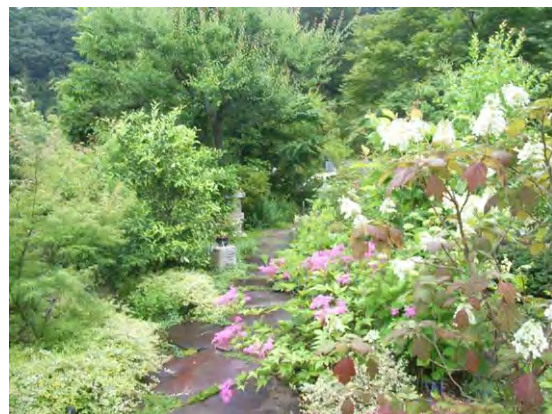
大好き

みどり

やっぱり

オープンガーデンをご存知ですか？

もともとは、イギリスで行われるプライベートガーデンの一般公開を指す言葉で、その歴史は古く、1927年に創立された NGS(ナショナル・ガーデン・スキーム/全英庭園機構)と言う慈善団体が主催しています。毎年2月に発売される通称「イエローブック」と呼ばれるガイドブックには、NGS の厳しい基準を満たした約 3500 の選りすぐりの庭が紹介され、それぞれの庭がもっとも美しい時期に、チャリティとして一般公開されます。入場料を払えば誰でも見学でき、収益金は医療福祉基金などの支援に充てられます。旅先でその魅力に触れて「日本でもオープンガーデンを！」との思いに駆られた人々たちによる取り組みが、10年ほど前から全国各地で始まりました。



八王子市の林邸。野趣に富んだガーデン。



林邸にて石窯で焼いたお伊もをご馳走になりました。

日本での取り組み

日本では、特にオープンガーデンに関する制約はなく、個々の思いが先行してのスタートで、私も2000年春に「オープンガーデンクラブ東京」という会を仲間とともに立ち上げ、東京ならではの徒歩によるオープンガーデンツアーに取り組んできました。当時すでに「バスで巡るオープンガーデンツアー」といった先進的な活動をしていた「オープンガーデンみやぎ」を視察してノウハウを学び、東京で庭を公開してくれる方を探して、手探りで始めたものです。今では全国各地に50以上のオープンガーデン組織ができているとのこと。「花のまちづくり」活動の一環として行政がバックアップしているものも多くあります。

大田区でもオープンガーデンを！

「みどりを守る」というと、公共の緑地を思い浮かべがちですが、もっと個人の庭や敷地にある緑にこそ焦点を当てた施策を、という観点から活動しているNPO法人日本公開庭園機構と言う団体があり、今年の6月には当会でツアーを組み、会員の方のお庭を拝見させていただきました。日野、八王子という地域性もあり、広いお庭ばかりでしたが、そのおもてなしの心やみどりへの思いは同じです。大田区でも是非、地域色を取り入れたオープンガーデンに取り組んでみたいと考えています。ご興味がある方、我こそは！という方、一緒に取り組んでみませんか？

(牧野 ふみよ)

※参考: オープンガーデンクラブ東京 <http://www.interaction.co.jp/~opengarden/>



日野市の山崎邸。庭ではレストランも経営しています。

「安全緑地」って何？



私たちの会は、その名のとおりに「花とみどりによるまちづくり」を目指しています。この春、NPO法人日本公開庭園機構代表の佐藤哲信氏より、緑化による安全で暮しやすいまちづくりを推進する「安全緑地」のお話を伺い、現地に実践例の視察に行きました。

道路沿いのブロック塀を低い植え込みにしたり、隅切りをして視界を広げたりすることは、特に子ども達や高齢者に対する交通安全や防犯の役割、防災の避難路、避難場所の確保として大いに役立つことを学びました。私たちの暮らしやまちづくりの中の「万一に対する備え」に、緑化を推進しながら取り組むことで、よりよい環境を作り出すことができます。あなたが普段何気なく通っている道を、子どもたちやお年寄りの身になって歩いてみてください。通路は狭く、高いブロック塀により視界が遮られている道の多いことに気づきます。そして緊急時の避難路としての不安も起こります。

- ・ 学校の死角(角地)をポケットパーク(ミニ安全緑地)に
 - ・ 住居と道路(避難路)の安全化で、緑の風の通り道に
- などを、具体化することは、景観を向上させ、人と人との交流の場ができ、まちの安全確保につながります。このように、私たちのまちに安全緑地(緑化スペース)を設けて、安全確保と緑化による、思いやりのあるまちづくりを進めていきたいと思ひます。

(河村 丞)



この点線内が以前は見えていなかった

以前はこのラインまでがブロック塀でした



日野市立大阪上中学校の「安全緑地」。憩いのベンチも設置し、見通しも景観も格段にアップ！

E加減 de エコライフ

今回の主役はボクだよ！



<プロフィール>

タマネギ(ユリ科)

学名 Allium cepa 英名 Onion

原産地 中央アジア

◆**タマネギを食べつくす！**…タマネギは捨てるところがありません。皆さん、外側の茶色の「皮」の部分、捨ててはいませんか？ 実は、この「皮」の部分も食べることができるんです。カラカラになるまで十分乾燥させたあと、粉末状にします。400～500ccに対して小さじ1杯を目安に入ると、洋風スープの隠し味になります。

◆**タマネギでアートする！**…タマネギの皮で簡単草木染ができます。目安としてハンカチ1枚染めるのにタマネギ1個分の皮が必要で、下の写真くらいの色に染まります。タマネギの皮をひたひた位の分量の水に入れて火にかけ(このときの鍋は、ステンレス製かホーロー製のものを使用)沸騰してから15分位したら、タマネギの皮を取り出して、お湯に少々のもヨウバンを溶いたものを加え、布を20分位浸したあと、よく水洗いをしてできあがり！ 写真は児童館で草木染体験をしたときのもの。割り箸と輪ゴムで「絞り」も入れて、きれいに染まりました！(牧野 ふみよ)



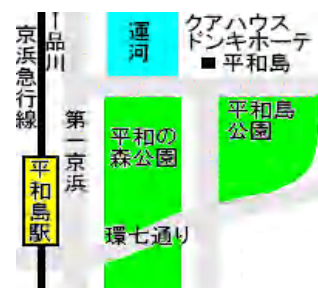
★情報提供: 渡辺 久江さん★

探検！発見！耳寄りみどり

～平和の森公園 街山プロジェクト～

平和の森公園では、当会の活動として樹名板の取り付けなどを実施してきました。この公園は大田区でもっとも広く「森」を連想させる空間です。郊外に行けば、一般的に里山と呼ばれる場所に出会えますが、大田区内ではそのような環境は望めません。そんな中で、貴重なこの森を区民の憩いの場所として整備し、身近な都会の生活の中でも森林浴が楽しめるようにしたい、という思いで「街山プロジェクト」をスタートしました。この公園は雑誌で「みんなの大田区ランキング」公園の部で第一位でした。ここは、大井中央海浜公園～東京湾野鳥公園～品川区民公園～平和の森公園～大森ふるさとの浜辺公園と、緑のベルト地帯が続く、元埋立地の公園です。この地帯に大きな憩いの場所、区民や都市に住む人達に魅力ある場所の提供は、未来に夢を与えます。NPO法人大田・花とみどりのまちづくりでは、こうした街山づくりを今後も広げていきたいと思っています。

(上田 志朗)



街山プロジェクト、イベントの様子

四季の庭から



春の庭のようす。こんな庭を作るためには前年の秋からの準備作業がポイントです。(川口邸にて)

ツマグロヒョウモンのメス。私たちが花を育てている現場にて。



間もなく秋の園芸シーズンです。今回は9月～11月に私が庭で行う作業計画について順を追って記してみます。参考になれば幸いです。

9月

初旬・・・種子・宿根草苗・秋植え球根の注文・購入

四季咲きバラの剪定も適期です。樹高全体の約3分の2になるよう、今年伸びた枝の5枚葉上から数えて2段目の上10mmで切ります。化成肥料などを施します。

下旬・・・タネ蒔き: デルフィニューム、キンギョソウ、ワスレナグサ、アグロステンマ、ジギタリスなど

※この時期、ツマグロヒョウモンの幼虫にビオラ・

パンジーの苗が食べられることがあります。

温暖化の影響で北上してきたチョウで、最近話題になっています。



この姿に要注意!

10月



↑ビオラ

そろそろ店先に秋～冬の花苗が出揃いますので、春まで楽しめる寄せ植えを作成します。花材はビオラ・パンジー・アリッサム・ガーデンシクラメンなど。中旬ごろには、9月に種まきしたものが本葉2～4枚になるので9cmポットに移植します。



アリッサム→

以上がこの時期の作業計画です。私は花大好き人間、花との出会いは小学6年のとき。一本の白いつるバラから始まり、以来五十数年花作りを楽しんできました。

花つくる人・見る人・ふれる人、みな仲間。花・みどりを通じて、やさしい環境を作りたいものです。(川口 良夫)

11月

・宿根草の株分けの時期です。宿根草は、植え続けたままにしていると密植(混んでくる)のため勢いがなくなるので、2～3年で株分けをします。

・花壇に堆肥や腐葉土、石灰などを鋤き込み、植付け前の土作りをします。9月に種まきした苗を、花壇、コンテナなどに植えつけます。

・また、秋植え球根の植付けも適期です。このころになると、欲しい球根は売り切れてしまいますので、購入は早めに!



左: チューリップ
右: ムスカリ

花とみどりの お気に入り♪

Book



「ハーブ・ガーデン」
永田ヒロ子著
主婦と友社 刊
1,400円(税別)

「スローライフ」「ロハスな生活」が流行する中で、ハーブもそのナチュラルな存在感からか、人気上昇中のようで、書店の園芸本コーナーには、ハーブ関連のノウハウ本が並んでいます。その中でひとときオシャレで「まねしてみたい!」と思わせる一冊をご紹介します。ハーブ愛好家、永田ヒロ子さんが、ハーブを育てる、活用する、毎日の暮らしをそのまま映しているようなステキな本になっています。ハーブに癒されて幸せそうな愛犬の写真も印象的。ぜひ書店でお手に取ってみてください。(牧野 ふみよ)

Shop



Blumen K(ブルーメン ケイ)
大田区西嶺町22-17
TEL 3750-6106

確か目印はブルーの家・・・だったはずが、今ではみどり豊かなまちなみにすっかり溶け込んでいます。店先に並んでいる鉢は、他のどの店でも見られない彩りで、オーナーの金田さんのセンスが窺えます。センスだけでなく、グリーンアドバイザー、ハンギングバスケットマスターなどの資格も持つ本格派で、日本手工芸指導協会講師の資格が得られるフラワーアレンジメント教室も開かれています。「緑を重視したまちづくり」への思いが伝わるショップです。

(内田 秀子)

秋の 活動予定

◆駅前花壇の植替え（蒲田・大森・下丸子駅前）

10月～11月にかけて、駅前花壇の植替えを行います。冬～春の間、きれいに咲いてくれるパンジー、ビオラ、ノースポールなどを使います。リニューアルをお楽しみに！



駅前で活動中。見かけたらお声をかけてね！



昨年のふれあいフェスタでは花の販売が大好評

右記の各イベントで、当会ブースにこの広報紙をご持参くださった先着50名様に、花苗をプレゼント！

◆10/28（日）田園調布せせらぎ公園 フレ・オーブンフェア

田園調布せせらぎ公園は、平成20年4月に都市公園として正式にオープンします。それに因んで準備段階から関わってきたメンバーによるプレ・オーブンフェアを行います。

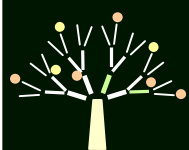
◆11/10（土）・11（日）OTA ふれあいフェスタ 2007

平和の森公園会場にて、私たちが育てた花苗や、市場から仕入れた鉢花などの販売を行っています。

◆11/16（金）～18（日）おおた環境・福祉展 2007

（会場：大田区産業プラザ Pio）

私たちが育てた花苗や、市場から仕入れた鉢花を販売いたします。



わたしたちについて

大田・花とみどりのまちづくりの活動マップ

田園調布せせらぎ公園

・「花とみどりのつどい」を毎月第一日曜13時～15時開催。
花やみどりが大好きな人たちの交流の場となっています。

大森駅前花壇

・管理活動：毎週火曜日9時～
・駅前だけでなく、バス通りや商店街にも花壇があります。

このマップの場所以外でも

- ◎保育園、児童館の花壇作り
- ◎特養の樹木の剪定
- ◎個人のお庭の手入れ
- ◎各種セミナー、イベント協力
- ◎学校の授業への協力
- ◎学校など幅広く活動しています

区民プラザ前プランター

・管理活動：毎週木曜9時～
四季折々、きれいな花を楽しめるように心がけています。

平和の森公園

・「街山プロジェクト」として、年間を通じて様々な活動をしています。観察会や勉強会も随時行っています。

南久が原園場

・管理活動：毎月第2・4金曜10時～12時
・地域に植えるための花苗を育てる活動もしています。

大森南園場

・管理活動：毎週水・金曜日9:00～16:00
・保育園児のお散歩コースや地域の方たちの学びの場にもなっています。

六郷土手花壇

・管理活動：毎月最終日曜日10時～12時
・近隣町会の皆さんにもご協力をいただいています。

区役所本庁舎前プランター

・管理活動：蒲田駅前花壇の管理作業の後に実施
・区の玄関なので、常にきれいにと、張り切っています。

蒲田駅前花壇

・管理活動：毎週火曜日9時～
・駅前だけでなく、西口、東口のバス通りの花壇も管理しています。

会員募集中！

大田区内のあらゆるところで活動しています。花やみどりに直接触れる活動はもちろん、そうした活動をサポートする事務作業や、車の運転など、さまざまな活動があります。あなたも参加してみませんか？

お問合せは右記事務局まで。入会案内資料と最新の会員だよりをお届けします。

編集 後記

今年で活動が5年目を迎えたのを機に、広報紙をリニューアルいたしました。手に取ってくださった皆さんのお役に立てば嬉しいです。これからも多くの方々と活動の輪が広がることを願っています。（F）

発行：NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり

〒144-0051 大田区西蒲田 7-24-7-203

tel & fax：03-3734-7932

E-mail：npoogc@yahoo.co.jp